

令和8年度 東京都立江戸川高等学校（全日制課程）学校経営計画

本校は、東京都教育委員会から「進学指導推進校」の指定を受け、これまでの取組を基盤として、学習指導及び進路指導の一層の充実を図る。

国公立大学及び難関私立大学への進学実績は着実に向上しており、今後は、生徒一人一人が高い志を持ち、最後まで希望進路の実現に向けて取り組むことができるよう、指導体制の更なる強化を図る。

また、本校創立以来の気風である「文武両道」の実現を引き続き重視し、学習と部活動・学校行事の高い次元での両立を推進する。

教職員が共通理解のもとで連携・協働し、生徒にとって安心・安全で充実した教育環境を整えるとともに、生徒第一の視点に立った学校運営を進めていく。

I 目指す学校

1 スクール・ミッション

主体的な問題解決、計画的な行動、高い規範意識と自他尊重、総合知をもって学びを人生に生かすことができる人物の育成を目指し、進学と部活動の両立や活発な学校行事と自然体験合宿などの体験活動を通して、合理性、積極性、自主性、協調性の4資質を備え、学びを自分と世界の幸福に生かす生徒を育成する。

2 スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ・本校の教育目標である「合理性、積極性、自主性、協調性の4資質を備えた人格陶冶」のもと、文武両道を奨励し、真に自立し社会に貢献できる人材を育成する。
- ・「進学指導推進校」として、生徒の高い志の進路が確実に実現できる学校であるとともに、すべての教育活動を通して生徒の主体性を育てる。
- ・「伝統は守るものではなく、日々新たに作り出すもの」をモットーに、個性豊かで創造力・行動力に富む人材を育成する。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ・「進学指導推進校」として、生徒一人一人の学力向上への組織的取組（学習指導）
- ・キャリア教育の視点に立ち、将来の生き方を見据えた教育活動の展開（進路指導）
- ・自律的生活習慣・規範意識の徹底及び調和のとれた人材育成（生活指導）
- ・真の文武両道を目指し、自主性・自立性の涵養（特別活動・部活動、健康づくり）

(3) アドミッション・ポリシー

- ・「進学指導推進校」の指定を受け、進学指導に重点を置き、部活動及び学校行事を通じて努力を惜しまず高い志をもつ生徒を希望する。

II 中期的目標とその達成に向けた方策

生涯にわたって自ら学び続ける姿勢を持ち、常に一段高い目標を自ら設定し、それを実現するために主体的に努力し続ける力を育成する。

1 「進学指導推進校」として、生徒一人一人の学力向上への組織的取組（学習指導）

- (1) 授業内容や指導方法の工夫・改善による基礎・基本の確実な定着と応用力の育成
- (2) 基礎・基本を元に自分の考えを構築し、発信・議論できる力を養う
- (3) 「予習→授業→復習」の学習習慣の定着
- (4) 少人数授業や日常及び長期休業日中の補習・講習を実施し、「学び合う仲間」の形成

- 2 **キャリア教育の視点に立ち、将来の生き方を見据えた教育活動の展開（進路指導）**
 - (1) 3年間のキャリア教育の全体計画に基づき、計画的・組織的な進路指導の充実
 - (2) P T A、菱野会、蓮葉会（同窓会）等との連携強化及び講演会等の実施
- 3 **自律的生活習慣・規範意識の徹底及び調和のとれた人材育成（生活指導）**
 - (1) 落ち着いた学習環境を確保し、心身ともに健全な人間の育成
 - (2) 人権意識・社会性・規範意識を養い、自律的生活習慣の徹底
 - (3) いじめの未然防止・早期発見・早期対応を徹底し、安心・安全な学習環境の整備
- 4 **真の文武両道を目指し、自主性・自立性の涵養（特別活動・部活動、健康づくり）**
 - (1) 豊かな心とたくましい体を養い、高いレベルの「文武両道」を実現
 - (2) 学校保健計画に基づく心身の健康づくりの推進と自他の生命の尊さの指導
 - (3) 防災教育や安全教育を通して、事故防止に努め、「自助」、「共助」の精神の育成
- 5 **生徒募集の改善と充実（募集・広報活動）**
 - (1) 特色ある取組や教育活動を積極的にホームページ等で公開
 - (2) 学校説明会・見学会、授業公開、出前説明会の実施
- 6 **学校経営・組織体制**
 - (1) 企画調整会議を中心に、校務分掌内の協働体制の推進及び施設設備の検討・改善
 - (2) 全・定教員間の交流及び相互理解の上に立った組織運営の推進
 - (3) 外部機関の「生徒による授業評価」及び学校運営連絡協議会による「学校評価アンケート」の活用
 - (4) 教科会を軸にして、学力と進学実績の向上
 - (5) 教育課程及び観点別学習状況評価を適正に実施
 - (6) 統合型校務支援システムの全学年導入、全学年生徒の一人一台端末の活用、定期考査採点・分析」システムの活用を促進する。

Ⅲ 今年度の取組目標とその達成に向けた具体的方策

1 教育活動の目標と方策

(1) 学習指導

- ① 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを通して思考力・判断力・表現力を育成し、学力の向上を目指す。
- ② 全教科・科目において、難関大学受験等に対応した「学習課題」「実力テスト・課題テスト」「補習・講習」を計画的・体系的に実施する。
- ③ 放課後、補修の実施と自習室の開放を継続し、生徒の自学自習を支援する。
- ④ 宿題、週末課題、オンライン課題と小テスト等を関連付け、予習・復習及び学習の振り返りの習慣化を図る。
- ⑤ 土曜授業や放課後、長期休業中の講習等を積極的に実施し、基礎学力の定着及び応用力の向上を図る。
- ⑥ 授業公開や研究授業等を活用し、教員相互の授業参観を推進するとともに、授業改善につなげる。
- ⑦ 主体的・対話的で深い学びの視点から、思考力・判断力・表現力を育成する授業改善を推進する。
- ⑧ ICT 機器を効果的に活用した授業実践を推進する。
- ⑨ 教科「人間と社会」において、菱野山荘を活用した自然体験学習を実施し、体験を通じ

た探究的な学びを深めるとともに、地域の保育園などと連携しパートナーシップを築くことについて体験的に学ぶ。

- ⑩ 校外研修等で得た知見を校内研修や教科会等で共有し、組織的な指導力向上につなげる。
- ⑪ 日本の伝統文化や国際理解を踏まえた学習活動を通して、グローバルな視点を育成するとともに、英語4技能の向上を図る。

(2) 進路指導

- ① 1年次からの計画的なキャリア教育を通して、将来を見据えた進路意識と学習意欲の向上を図る。
- ② 進路部、学年、教科及び外部機関との連携を強化し、体系的かつきめ細かな進路指導体制を充実、発展させる。
- ③ 模試分析会やケース会議等を充実させ、教員の進路指導力の向上を図る。
- ④ 総合的な探究の時間において、自己の将来と社会的課題を関連付け、課題解決能力と探究心を育成する。
- ⑤ 教員による外部研修会への参加、先進校視察等を積極的に行い、最新の進路関連情報を収集・活用し、進路・楽手指導の改善に努める。
- ⑥ 主権者教育を通して、社会の形成者として求められる資質・能力を育成する。

(3) 生活指導

- ① 基本的な生活習慣及び規範意識の確立を重視し、遅刻指導や身だしなみ指導を計画的に行うとともに、遅刻指導、各教室の3S（整理・整頓・掃除）、自転車通学時のヘルメット着用を徹底する。
- ② 交通安全指導を徹底し、自転車通学マナーの向上と事故防止を図る。
- ③ 挨拶を基本とした礼儀を重視する指導を行い、心身の教育（道徳教育）を実践する。
- ④ 教師と生徒、生徒同士のコミュニケーションや触れ合いを大切にし、人権尊重の理念に基づいた指導を推進し、安心・安全な学校生活の実現を図る。
- ⑤ 全日制・定時制並置校として、両課程の円滑な学校運営に向けた連携を更に深める。

(4) 特別活動・部活動

- ① 学習・進路指導と特別活動の両立を図り、学校生活全体の充実を図る。
- ② 生徒会活動（委員会活動・HR活動等）の活性化や江戸川高校の伝統を継承する体育祭、文化祭、合唱祭の三大行事を通じて、生徒の主体性・協働性を育成する。
- ③ 文化・スポーツ等特別推薦を活用し、競技力の向上を図るとともに、全国・関東大会などの出場を目指す。

(5) 健康づくり

- ① 防災教育や安全教育を通して、生徒の生命と安全を守る指導を徹底するとともに、危機管理体制を強化する。
- ② スクールカウンセラー等との連携を強化し、生徒の心のケア及び未然防止に努める。
- ③ 体力テストの実施とともに、健康づくり・体力向上のための体制を整え、体力向上に向けた組織的な取り組みを行う。
- ④ 特別支援教育コーディネーターを中核とした支援体制を充実させ、多様な教育的ニーズ

に対応する。

- ⑤ 学校保健委員会を中心に、保護者、地域、関係機関との連携を強化し、生徒の健康づくりを推進するとともに、保健指導及び感染症、アレルギー反応対策を適切に実施する。
- ⑥ 清掃活動の徹底やごみの分別・原料に努め、校内の環境整備を推進する。

(6) 募集・広報活動

- ① 学校ホームページを重要な広報手段と位置付け、月10回程度更新し、教育活動の成果や特色を適切に発信する。
- ② 学校見学会、説明会、部活動体験等を充実させ、中学生及び保護者の理解を深める。
- ③ 在校生による広報活動を継続し、本校の魅力を伝える。
- ④ 土曜授業、年3回の学校公開（土曜日）を保護者や地域に広く周知する。

(7) 学校経営・組織運営

- ① 企画調整会議を軸に、組織的・効率的な学校経営を推進する。企画調整会議前の文章部会、学年会、教科会、委員会等で協議を重ねた最善策を校長・副校長に提言させる。
- ② 経営企画室の機能を一層高めるとともに、経営企画室と教員の連携を深める。
- ③ 学校運営連絡協議会による学校評価等を活用し、地域や都民のニーズを的確に把握し、学校経営に反映させる。
- ④ 危機管理体制の再点検・再構築を行ない、安全管理体制を整備する。
- ⑤ 個人情報安全管理基準に基づいた個人情報の管理を徹底するとともに、サービス事故防止を徹底し、サービス事故ゼロを目指す。
- ⑥ 業務のスリム化や合理化・効率化を進める。
- ⑦ 休暇取得、夏季休暇取得、閉庁日の活用を促してライフ・ワーク・バランスを推進及びメンタルヘルス対策に継続して取り組む。
- ⑧ 生徒の活動、環境整備等にPTA、菱野会、蓮葉会（同窓会）、江友会（保護者OB会）等との連携を図り、学校運営を支える基盤を充実させる。

2 重点目標と方策

(1) 「進学指導推進校」としての学習指導・進路指導の更なる充実と希望進路の実現

- ① 学力分析会での検討を教科会で授業改善の具体化につなげ、教科全体の授業力向上を図る。
- ② 進路説明会・講演会の充実及び校内予備校事業の活用により、第一志望の決定に際し、安易な妥協をすることなく高い目標にチャレンジさせる進路指導を行う。
- ③ 大学入学共通テストを利用した受験指導をより一層発展させる。
- ④ 各学年において、朝学習を実施する。
- ⑤ 読書力・読解力を高めていくために、読書活動を充実させる。
- ⑥ 英語力を高めていくために、英検資格取得を推奨する。

【数値目標】

| | |
|---------------------|-----------|
| <1> 定例・年間計画に基づく教科会 | 合わせて16回以上 |
| <2> 進路説明会・講演会 | 12回（講座）以上 |
| <3> 国公立+早慶上理+GMARCH | 合格者150名以上 |

| | |
|---------------|-------------------------|
| | (国公立10、早慶上理20) |
| <4> 成成明國武芝 | 合格者100名以上 |
| <5> 大学入学共通テスト | 出願者数90%以上 |
| | 8科目受験者7%以上 |
| | 科目の得点率8割以上が10%以上を10科目以上 |

(2) 「文武両道」の実現と規範意識の向上を通じて、達成感・成就感の体得

- ① 部活動や学校行事・生徒会活動等を通して、より豊かな人間関係の構築及び目標を達成させることで成就感や自己肯定感を高めさせる。
- ② 遅刻・外出・下校時の指導や頭髪指導、身だしなみ指導をきめ細かく行い、自律的生活習慣を身に付けさせる。
- ③ 未然防止や予防的指導の考えのもと、薬物乱用防止、交通安全などに関するセーフティ教室及び生命尊重教育を実施する。特に自転車乗車マナーに関する指導を強化し、登下校時の事故防止を図る。

【数値目標】

| | |
|----------------------|--------|
| <1> 部活動加入率 | 90%以上 |
| <2> 近隣の中学生を招いた交流練習会等 | 30回程度 |
| <3> 登下校時の自転車による事故 | 0件 |
| <4> 遅刻指導生徒数 | 200名以下 |
| <5> 頭髪指導生徒数 | 5名以下 |
| <6> いじめ件数 | 0件 |

(3) 本校の特色ある教育活動の発信と志願者の確保

- ① 本校の特色をわかりやすく伝えられるよう、説明内容等を工夫するとともに、学校見学・説明会の運営については都立高校PR事業を活用する。
- ② 広報用のパンフレット・ポスター等の配布地域を拡大して広く周知する。
- ③ ホームページを重要な広報手段と位置付け、内容・見やすさの工夫を図る。

【数値目標】

| | |
|--------------------|-----------------|
| <1> 体育祭への来校者数 | 1000名以上 |
| <2> 文化祭への来校者数 | 4000名以上 |
| <3> 学校見学・説明会への参加者数 | 3700名以上(校内実施のみ) |
| <4> 入学選抜の応募倍率 | 1.7倍以上 |